

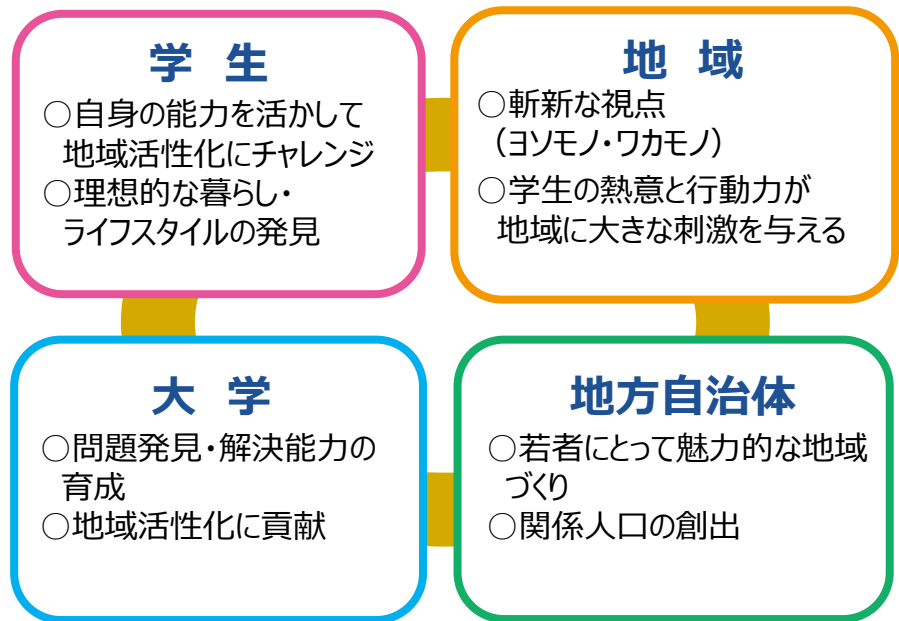
ふるさとミライカレッジ、ふるさとワーキングホリデー、 サテライトオフィスについて

総務省 地域力創造グループ 地域政策課



若者の力を活かした魅力的な地域づくりや未来の地域づくり人材の育成を加速させるため、自治体が大学等と連携し、学生のフィールドワーク等を受け入れて実施する地域課題解決プロジェクトを支援。

意義



プロジェクト実施例



1. 地域の課題を把握



2. 学生のアイデアを出し合う

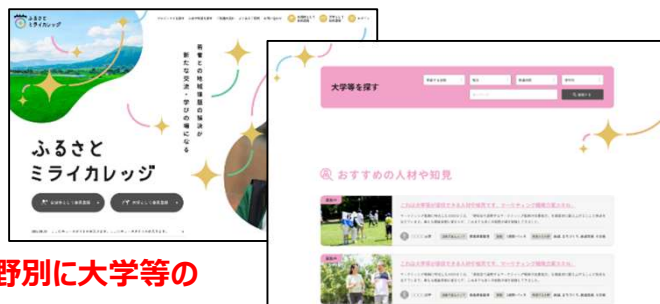


3. 地元住民の意見を取り入れる



4. 地域にて実践

マッチングウェブサイト (R8.3~)



分野別に大学等の
人材・知見を検索可能

登録は
こちらから



財政措置

- ①都道府県 ②三大都市圏外の市町村 ③三大都市圏内の市町村のうち条件不利地域などを対象に、以下の経費について特別交付税措置（措置率0.5（財政力補正あり））
- ※対象経費の上限 1団体あたり15,000千円+5千円×全参加者の延べ滞在日数
- ②③の対象：1,433市町村

① 募集・調整

・募集に係る各種経費

② 受入準備

・受入準備に要する経費
・プロジェクト計画づくりに要する経費 等

③ 活動支援

・実施団体内の移動費・宿泊費
・オリエンテーションに要する経費 等
※参加者の飲食費は対象外

- ① **モデル事業**を15団体程度で実施 ② 実地での**マッチングイベント**、**マッチングウェブサイト運営**により自治体と大学等のマッチングを促進し、全国での取組の機運醸成を図る。

1 モデル事業

自治体によるプログラム策定、受入体制構築等を支援
 定額500万円×15か所程度

- 採択団体：15団体

採択自治体	連携大学等
青森県八戸市	早稲田大学、慶應義塾大学、武蔵野大学
岩手県一戸町	明海大学
宮城県名取市	早稲田大学、仙台高等専門学校
新潟県三条市	東洋学園大学、ZEN大学
富山県氷見市	実践女子大学、相模女子大学、富山大学
福井県大野市	関西大学、大阪音楽大学、大手前大学
長野県長和町	女子美術大学、千葉大学
奈良県下北山村	奈良女子大学、奈良教育大学、奈良県立大学
奈良県明日香村	大阪成蹊大学、阪南大学、京都外国語大学、神戸国際大学、大阪商業大学
岡山県新見市	岡山大学、岡山県立大学、戸板女子短期大学、大阪公立大学
徳島県	徳島大学、摂南大学、安田女子大学
徳島県美波町	大阪大学、神奈川大学、日本大学
熊本県上天草市	津田塾大学、横浜国立大学、北九州市立大学、熊本県立大学
鹿児島県南九州市	相模女子大学、龍谷大学、呉高等専門学校
鹿児島県喜界町	慶應義塾大学

2 自治体と大学等のマッチングの促進

- ① 自治体と大学等が一堂に会するマッチングイベント等を実施



令和7年度開催
 マッチングイベントの様相
 (東京 大手町で開催)

- ② 令和7年度に立ち上げたマッチングウェブサイト運営
 オンライン上で新規連携先を探すことのできる環境を整備

- サイト運用開始：令和8年3月
- サイト登録者：取組を希望する自治体・大学等



ふるさとミライカレッジ マatchingサイト

○ 地域課題の解決に取り組みたい自治体と、学生の課題発見・解決能力の育成を目指す大学等をつなぐマッチングウェブサイトを、令和8年3月12日よりオープンしました。

- 本サイトでは、自治体や大学等が登録することで、それぞれのニーズを閲覧・申し込みし、連携して取り組むパートナーを見つけることができます。
- 地域の課題解決と人材育成の双方につながる取り組みとして、ぜひ自治体・大学等の皆様にご登録いただき、本サイトをご活用ください。

ふるさとミライカレッジ

ご利用の流れ よくあるご質問 お問い合わせ 自治体として会員登録 大学として会員登録 ログイン

学生の力を地域に届ける
自治体と大学等をつなぐ
マatchingプラットフォーム

ふるさと
ミライカレッジ

自治体として会員登録 大学として会員登録

登録は
こちらから



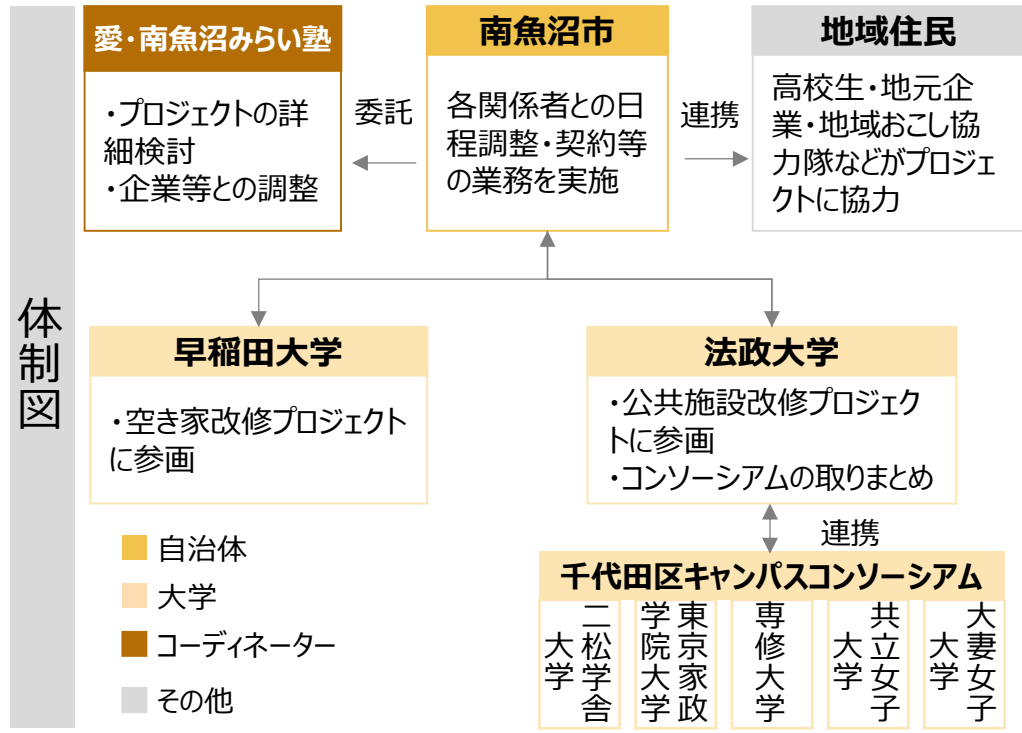
R7モデル事業の事例_新潟県南魚沼市（若者の視点を取り入れたリノベーション・プロジェクト）

■地域課題の解決に向け、空き家等の改修と、住民交流を通じた継続的な滞在拠点の整備を推進。地域おこし協力隊や既存事業等への参画を促し、持続的な地域担い手の育成と関係性構築を図る。

概要

自治体名	■ 新潟県南魚沼市
連携大学	■ 早稲田大学、法政大学など（25名）
取組概要	■ 空き家・公共施設の改修（全20日間）
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築や地域活性化を学ぶ学生が、伝統建築の視察や住民との対話を通じ、施設の改修プラン策定と施工を遂行 ■ 改修施設を拠点に、課題解決に向けた継続的なアイデア創出・共有の場を構築
目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 空き家等の改修により、合宿拠点として継続的に活用できる環境の整備 ■ 参加学生の継続的な来訪を促し、地域おこし協力隊等への参画を見据えた強固な関係性の構築
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「ふるさとワーキングホリデー」等の既存事業と連携した関係人口の拡大 ■ 学生の活動を評価し、行政・地元企業への就業受け皿づくりを支援・促進 ■ 中間組織/企業連携による負担軽減

体制とイメージ



実施の様相



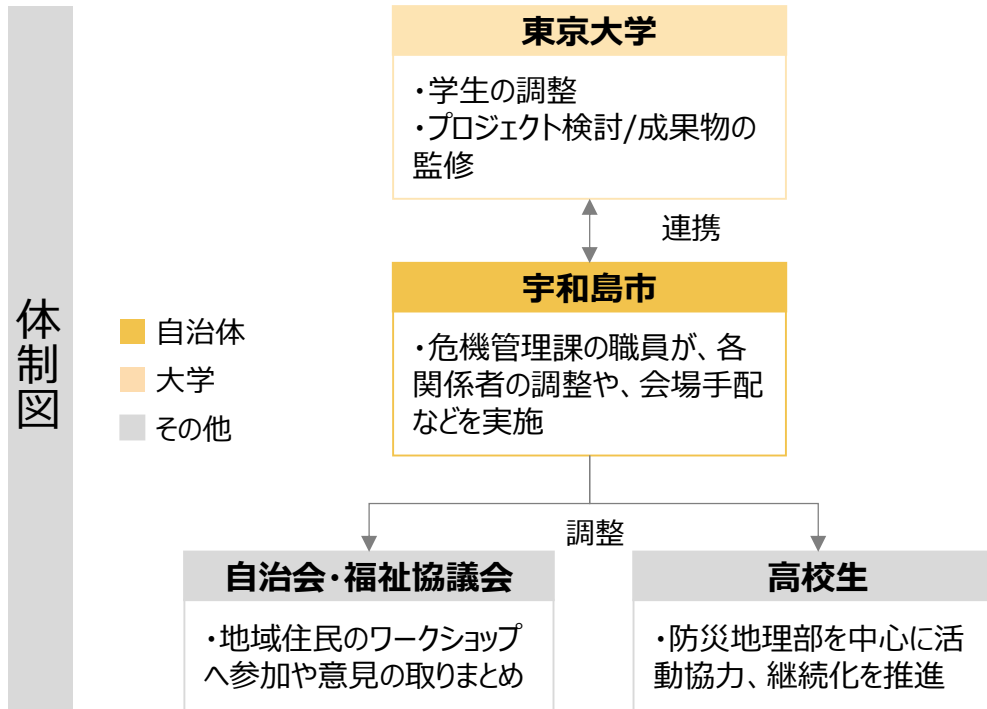
R7モデル事業の事例_愛媛県宇和島市（地域を担う若者と一緒に考える事前復興プロジェクト）

■事前復興計画の具体化に向け、大学の専門性と地元学生の視点を融合したハード・ソフト両面の解決策を検討。既存の事業や部活動を連動させることで、一過性に終わらない持続的な取組と関係人口の創出を図る。

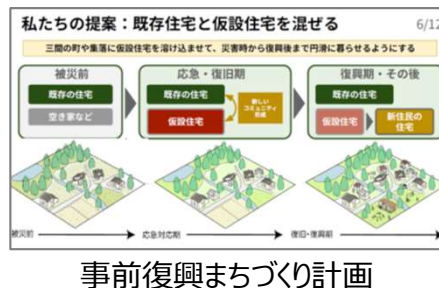
概要

自治体名	■ 愛媛県宇和島市
連携大学	■ 東京大学大学院（参加学生10人）
取組概要	■ 事前復興プロジェクト（全15日間）
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高校生と連携したフィールドワークを実施し、各地区の特性に応じた防災・復興に関するハード・ソフト両面の提案を作成 ■ 成果の展示や、交流施設整備に関する検討、住民への課題の整理・共有を実施
目指す成果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域課題の抽出・企画提案を通じた、市の事前復興計画への反映や具体的なソフト・ハード整備への展開 ■ 高校・大学の連携や住民交流による提案の深化、および継続的な関係人口の創出
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地元高校の防災活動と連携し、大学の教育プログラムと接続し、プロジェクト終了後も定期的に状況確認も含めて連携を継続 ■ 大学からの企画提案を市計画に取り入れることで、参加大学生と地元住民との交流を継続しやすい環境を作る

体制とイメージ



実施の様相



ふるさとミライカレッジ 財政措置の内容（特別交付税措置）

若者の力を活かした魅力的な地域づくりや未来の地域づくり人材の育成の取組を加速化させるため、自治体が、大学等と連携し、学生のフィールドワーク等を受け入れて実施する地域課題解決プロジェクトに取り組む場合の経費を特別交付税措置

対象団体

- ① **三大都市圏外の市町村**
- ② **三大都市圏内の市町村のうち条件不利地域を有する市町村、定住自立圏に取り組む市町村又は人口減少率が高い市町村**
- ③ **都道府県**（上記①又は②の市町村においてフィールドワークを行うものに限る）

対象経費の詳細

● **地方が単独で実施する事業**のうち以下の経費が対象

- ・ 参加学生等の募集に要する経費
- ・ 受入れ準備に要する経費（プロジェクト計画策定費等）
- ・ 滞在場所の確保に要する経費（宿泊費等）
- ・ プロジェクトの実施に伴う旅費（交通費、車の借上料等）
- ・ コーディネーター委託費
- ・ プロジェクト実施に係る経費（謝金、会場借上料、事業の実施に必要な施設整備費・備品費・原材料費等）

※ 参加者等の飲食に要する経費、事業の実施以外の利用が主となる施設整備費・備品費・原材料費等、本事業を実施する上で適当でないと考えられる経費は対象外

対象経費の上限

1 団体あたり 15,000千円 + 5千円 × 全参加者の延べ滞在日数 （措置率0.5、財政力補正あり）

ふるさとワーキングホリデー



- 都市部の若者などが、**一定期間（概ね2週間～1か月）** 地方に滞在し、**働いて収入を得ながら**、地域住民との交流や学びの場などを通じて**地域での暮らしを体感**することで、地域との関わりを深めるもの。

事業スキーム



参加者

- 稼ぎも住まいも気にすることなく、新たな地域で新たな業務経験〈Work〉
- 豊かな自然環境、時間的ゆとり、新たな交友関係〈Holiday〉

新しい地方での仕事・暮らしを通じて、自身を見つめ直すきっかけづくり



自治体

- 都市部の若者等に、まちを知り、関わってもらおうきっかけづくり
- 将来の移住・定住につなげるほか、まちの「関係人口」に

地域事業者等

- 都市部の若者等との交流による新たな経験・気づき
- 担い手不足の解消、将来の担い手の確保につなげる

財政措置

都道府県 及び 三大都市圏外の市町村 + 大都市圏内の市町村のうち条件不利地域など(1,433市町村)を対象に、以下の経費について特別交付税措置（措置率0.5（財政力補正あり））
※ 対象経費の上限 1団体あたり15,000千円 + 5千円×全参加者の延べ滞在日数

参加者募集支援・伴走支援

- 参加者募集のための「合同説明会」（オンライン）を年4回程度開催
- 新規に取り組むことを検討中の自治体には、ノウハウを共有するなど伴走支援を実施

① 募集・受付

- ・募集に係る各種経費
- ・応募者との面談、受入企業との調整に要する経費 等

② 受入準備

- ・受入準備に要する経費
- ・滞在場所確保に要する経費 等

③ 活動支援

- ・実施団体内の移動費、宿泊費
- ・交流イベント等に要する経費 等
- ※ 参加者の飲食費は対象外

POINT

- これまでに、**5,979名**が参加
- 参加者の**約9割**が満足、**約9割**が再訪意向
- 参加後、**移住・定住**や、**地域おこし協力隊**として活躍する例も



宮城県 気仙沼市 R6参加実績：100名 (再訪機運醸成に向けた取組)



- 参加者の再訪機運醸成のため、都市圏において定期的にファンミーティングを開催するなど、参加後のイベントを実施

新潟県南魚沼市 R6参加実績：55名 (参加者と地域の継続的な関係構築)



- 参加者が地域運営組織に加入し、次年度以降のふるさとワーキングホリデー事務局スタッフとしても活躍

富山県 魚津市 R6参加実績：17名 (継続的な地域の魅力発信)



- 参加者に対してイベント情報を定期的に発信する等、地域の魅力を継続的に発信し、再訪者等の関係人口を創出

長野県 伊那市 R6参加実績：32名 (移住・定住促進)



- 元参加者である地域おこし協力隊が応募者に事前面談を実施し、移住意向の強い人を受け入れ、高い移住率を実現

徳島県 鳴門市 R6参加実績：20名 (参加者による地域創業)



- 移住した参加者が地域で起業し、特産品「鳴門らっきょう」の加工品開発に取り組むとともに、受入事業者として市と協力

岩手県 R6参加実績：25名 (就業分野特化：観光業)



- 就労先を地域の宿泊施設や観光施設に特化することで、参加者が地域の魅力を知る機会を提供

サテライトオフィスの誘致



- 地方における雇用機会の創出や移住・定住の促進、産業の創出に向けて、**サテライトオフィスの誘致に取り組む自治体**を支援し、都市部から地方へのヒト・情報の流れの創出を更に加速する。

「お試しサテライトオフィス」に係る財政措置

特別交付税 ソフト事業が対象

【対象経費】

- 都市部の企業のお試し勤務の誘引に要する経費（都市部におけるPR経費等）
- お試し勤務環境の用意に要する経費（オフィスの賃料等（原則、ハード事業は対象外））
- お試し勤務期間中の活動に要する経費（交通費、地元企業とのビジネスマッチングイベント開催費等）

対象経費の上限額：1,000万円
(措置率0.5・財政力補正あり)

- ※以下の区域外で行う取組が対象（都道府県・1,574市町村）
- ①首都圏整備法に基づく「既成市街地」及び「近郊整備地帯」
 - ②首都圏等財特法施行令第1条で定める区域
 - ③近畿圏整備法に基づく「既成都市区域」

地方債 ハード事業が対象

サテライトオフィス誘致支援施設の整備に対して、**地域活性化事業債**が活用可能（充当率90%、交付税算入率30%）

特設サイトによる情報発信

- 総務省の特設サイトにおいて、企業のお試し勤務を受け入れる施設や地域の情報などを掲載

(掲載例)

信濃町ノマドワークセンター



所在地	〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻1200-45
ホームページ	https://nwc.natureservice.jp
設備	wi-fi、コピー機、3Dプリンター、レーザーカッター、ボール盤、溶接機等
施設概要	施設は、上信越自動車道信濃町ICから7分の場所にあり、ワークスペース（40人収容可）、会議スペース3室、メイクラボ、ロボットテストフィールド等を完備し、IT企業だけでなくAIやロボティクス分野まで対応し、実証実験を行える施設です。 利用方法は、法人向けで1週間、1ヶ月単位での貸し切りプランでの施設となっており、滞在期間中にウォータースポーツやトレッキング等の様々なアクティビティを組み込みワーケーションとしての利用提案もできます。
近隣施設	オートキャンプ場（併設）、コンビニエンスストア（車で5分）、温泉施設（車で9分）
滞在施設	野尻湖周辺及び黒姫高原周辺の宿泊施設を紹介

POINT

- お試し勤務の受け入れを通じたサテライトオフィス誘致を支援
- ソフト・ハード両面について支援